

## 会議録（概要）

会議名称	第1回愛西市総合計画審議会
開催日時	令和6年7月5日（金） 午前9時00分から午前10時30分まで
開催場所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1, 2
出席者	別紙のとおり
欠席者	石河和子委員、水谷瀧男委員
公開・非公開	公開
傍聴人の数	1人
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●審議事項</li> <li style="padding-left: 20px;">(1) 第3次愛西市総合計画に係る市民アンケート（案）について</li> <li>●その他</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・総合計画審議会委員名簿</li> <li>・配席図</li> <li>・諮問書の写し</li> <li>・資料1 第3次愛西市総合計画の策定について</li> <li>・資料2 第3次総合計画に関するアンケート調査</li> <li>・第2次愛西市総合計画（本冊）及び第2次愛西市総合計画後期基本計画 ＜事前配布＞</li> <li>・愛西市総合計画審議会条例</li> <li>・愛西市総合計画審議会運営規程</li> <li>・第2次愛西市総合計画（2018-2025）概要</li> </ul>
審議経過	別紙のとおり

愛西市総合計画審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千頭 聡	
副 会 長	加藤 洋平	
	平野 英治	
	長谷川 岸子	
	鬼頭 豊次	
	加藤 憲治	
	小島 ひろえ	
	石河 和子	欠 席
	原田 健三	
	水野 善弘	
	山内 清乃	
	堀田 豊彦	
	杉方 南衣	
	松永 恵美子	
	水谷 瀧男	欠 席
	水谷 良子	
	池口 あゆみ	
	伊藤 里海	
	礮元 玲奈	
	竹田 友美	

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
市 長	日永 貴章	
副 市 長	清水 栄利子	
教 育 長	河野 正輝	
総務部長	近藤 幸敏	
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	澤井 勇一郎	
市民協働部長	山岸 忠則	
保険福祉部長	田口 貴敏	
健康子ども部長	人見 英樹	
保険福祉部参事	高松 潤也	
産業建設部長	宮川 昌和	
産業建設部参事	小原 智宏	
上下水道部長	山田 英穂	
議会事務局長	鷺尾 和彦	
教育部長	佐藤 博之	
消防長	伊藤 規雄	伊藤 政儀（代理出席）

## 事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部経営企画課長	井戸田 悦孝	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	
企画政策部経営企画課主事	富田 智美	
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)		委託事業者

## 審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>開会</p> <p>資料の確認</p> <p>会議の成立 [愛西市総合計画審議会条例第6条第2項]</p> <p>会議の公開と傍聴について（傍聴人1名） [愛西市総合計画審議会運営規程第3条]</p> <p>会議録の作成 [愛西市総合計画審議会運営規程第4条]</p>
市長	<p><b>1. あいさつ</b> ＜市長あいさつ＞</p>
市長	<p><b>2. 委嘱状の交付</b> ＜市長から代表として千頭聡委員に交付＞</p>
各委員 副市長・教育長	<p><b>3. 自己紹介</b> ＜委員の自己紹介＞ ＜市側の紹介＞</p>
事務局	<p><b>4. 会長・副会長の選出について</b> ＜会長として千頭聡委員が推薦され、一同承認＞ ＜副会長として加藤洋平委員が推薦され、一同承認＞</p>
市長	<p><b>5. 諮問</b> ＜市長による諮問書の朗読後、千頭会長に手渡される＞</p>
会長	<p><b>6. 会議録署名委員の指名</b> ＜議事録署名委員として平野英治委員を指名＞</p>
事務局	<p><b>7. 第3次総合計画の策定について</b> ＜資料1について 事務局より説明＞</p>
会長	<p>1点だけ確認があります。策定体制のところ、「市議会での議決」とありましたが、議会ではどの部分を議決される予定でしょうか。</p>
事務局	<p>基本構想及び基本計画の部分について、議決されることになります。</p>
会長	<p>法的な位置付けも変わりました、総合計画自体は場合によって策定しなくてもよく、また、どの部分を議会で議決するかも市町村によって異なります。愛西市は基本構想と基本計画の全体を議会で議決するという</p>

	<p>ことです。審議会の仕事はそのための案を作ることです。 資料1で何かご質問があれば、お願いします。</p>
委員	<p>初めてですので申し訳ありませんが、8ページ、小・中学生はアンケートで、高校生はアンケートではなくワークショップということですが、どうしてこのような形になったのでしょうか。</p>
事務局	<p>高校生のワークショップについては、アンケートのように決められた質問に答えていただく形ではなく、高校生の「自由な発想」を今回のまちづくりの取組に反映していきたいと考え、より具体性を出すためにもワークショップを開催したいと考えております。</p>
会長	<p>ご関心のある方は、高校生ワークショップを覗いていただいても結構です。</p>
委員	<p>この会議は「第3次愛西市総合計画の策定」に関することだと思いますが、第2次愛西市総合計画の進捗や結果、反省についてはまとめられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>第2次愛西市総合計画の評価については、今後、各課ヒアリング等により実施計画等の検証を行うことで進めていきたいと思っております。評価結果については、第2回若しくは第3回の会議においてお示しし、協議していただきたいと思っております。また、評価結果を踏まえて今後の市のまちづくりのめざす方向性に即しているかどうかを分析していきたいと考えております。</p>
委員	<p>第3次愛西市総合計画の策定にあたって、会議に参加している委員の作業範囲はどの部分になるのでしょうか。基本的には市で作成した案に対して審議していくということでしょうか。</p>
事務局	<p>今後の審議会では、市民ワークショップや職員ワークショップを通して積み上げられたもの等、特に今後8年間でやるべきことのリストを提示することを予定しています。委員の皆様方には、今後活かしていくべき点や重要視すべき点についてご意見をいただき、ウエイト付けをしていただきたいと考えております。また、協議の過程の中で、市側が提示する案について不足しているといったご意見もお願いしたいと考えております。</p>
委員	<p>だいたい分かってきました。総合計画策定について、市民から選ばれた議員の方々はどの程度、策定に関与されるのでしょうか。</p>

会長	資料の8ページ、策定体制の審議会のやるべきことのところに市議会とありますので、ここの説明をお願いします。
事務局	市民の意見と庁内の意見を市長部局としてまとめた計画案を令和8年の3月議会で上程する流れとなるため、途中経過の段階で議会が関与することは考えておりません。
会長	<p>少しだけ補足させていただきます。本日、我々は市長から諮問を受けました。今後議論をして、第3次総合計画の案を作り、市長に答申します。その後市長が取りまとめを行います。それと同時に議会に提示して議会は議会として議論していただきます。場合によっては案に対して修正が入ることもございますが、最終的には議会として決定していただくこととなります。</p> <p>現計画の総括はすごく重要です。第2回の会議において、「現計画の評価・検証」がテーマになっていますので、市による検証結果についてご意見をいただいた上で、第3次総合計画の議論に入っていきたいと思っております。</p>
委員	市民アンケートの送付先は無作為に抽出されていて、関心のある方・ない方がいるかと思いますが、前回のアンケートの回収率はどの程度だったのでしょうか。今回はそれを上回るための工夫はされるのでしょうか。また、郵送される封筒には目を引くような、訴えかけるような工夫をされているのでしょうか。今まで送られてきたアンケートに対する意見も交えて、質問させていただきました。
事務局	<p>前回のアンケートの回収率は40～45パーセントが現状となっています。回答のしやすさという観点では、調査票に回答を書き込み、郵送するというのが面倒だということもありますので、今回はウェブ回答ができるような仕組みを整えたいと思っております。また、アンケートの内容については経年的な評価をするために、前回と調査内容を合わせており、固定的な設問となっているものがあります。委員の皆様方には、次の審議事項のところでご意見をいただけるとありがたいと思っております。</p>
事務局	<p><b>8. 審議事項</b></p> <p><b>(1) 第3次愛西市総合計画に係る市民アンケート（案）について</b></p> <p>＜資料2について 事務局より説明＞</p>
会長	小・中学生については、紙媒体ではないアンケートを想定されていて、市民については、紙媒体若しくはインターネットを通じてオンラインで回答するという2種類のやり方を想定されています。手法や中身について、ご意見をお出しください。

事務局	<p>まずは資料2 市民向けアンケートからお願いします。前回との比較をするため、ほとんどの項目は同じです。後半は、関係課からの意見を踏まえて一部新規追加しています。</p> <p>先ほどの杉方委員の質問ですが、回収率を上げるための工夫は何か想定されていますか。</p> <p>今のところ、工夫ということは思いついておりませんでした。内容の工夫は考えておりましたが、外側の封筒の工夫という視点を事務局として持っていなかったため、どういった工夫ができるのか検討・調整してみたいと思います。</p>
委員	<p>参考までにですが、商工会の会員さんに向けて、1200部程度、融資制度のチラシを封筒に入れてお渡ししていますが、見ていただけるのは3から4割です。商工会としても、封筒の色を変えるなど様々な工夫をしていますが、ほとんどの場合は受け取ってそのまま開封せずに、山積みになっているというのが実情だと思います。我々としても、興味を引き立てようと、案内文に同封書類の名称を大きな字で入れる等工夫していますが、なかなか変わらない状況です。</p> <p>コロナ禍にゼロ融資がありましたが、そういうときは多くの方に見ていただいています。どこの団体も同じだと思いますが、アンケートの回収は苦勞しているのが現状でございます。</p>
会長	<p>前回の市民アンケートの回収率は約45パーセントでした。経験的には努力をすると50パーセント、努力をしないと40パーセントくらいだと思います。表紙に回答を促すメッセージを一言記載すると回答率が向上するかもしれません。</p>
事務局	<p>皆様のご苦勞されたことについてご教示いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>私も他の課に所属していたときに、個別計画の策定に携わった経験もございますが、例えば、高齢者の場合は回答率が50から60パーセントになることもございます。今回に関しましては、18歳以上から無作為抽出ということですので、基本的に回答率が40パーセント以上であれば、相応のデータを取得できることはわかっています。一方、努力する・しないは別の問題ですので、会長・副会長にもご協力をいただきながら、事務局の方でも考えてみたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>アンケートの回答率が低い原因の一つとして、回答した内容が計画に反映されていくのか分かりにくい点も要因である可能性があります。無作為で選ばれる対象者の皆様に対して、第3次総合計画を作り、新しい</p>

<p>会長</p>	<p>まちづくりを推進していくための調査であることをしっかりと伝えることが重要です。</p> <p>私は農業分野の代表ということで出席していますが、私一人の知識、能力では愛西市全体の農業を代表として語れるとは思っておりません。第3次総合計画の策定が始まるということを全市民に広報などで周知して、あちらこちらで議論が巻き起こるような環境を作っていただければ、私の耳にも入ってきて、意見を集約した形でお繋ぎすることができると思います。</p> <p>重要な点を2つご指摘いただきました。</p> <p>アンケート結果を市民にどのようにお返しするのが1点目です。</p> <p>2点目は、私からもお願いしたいこととして、皆様は様々な立場で審議会の委員になられましたが、ぜひとも周りの人に「今の愛西市をどう思うか」について聞いていただき、それをこの場に代表して持ち込んでいただいたらより良い議論になると思います</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目に関しては、アンケート結果をどのように計画に反映するかがポイントになると考えており、データ・数値をもとに市民意見がどう反映されているかを示したいと思います。少数意見も含めて総合的に判断した結果を計画の中に記載したいと考えております。</p> <p>平野委員のご発言は総合計画だけの話ではないと感じました。行政が様々なアンケートを取った上で、数字をどのように市民にお示し、現在に至っているのかといったところの反省をいただいたと認識いたしました。行政が行う計画策定や事業評価のアンケートに対する皆様へのお示しの仕方や反映の仕方は、経営企画課だけでなく、市全体で工夫する必要があると思いましたので、全職員にも周知してまいります。今後の我々の仕事に対する姿勢としてお受け取りさせていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>市はFacebook や Instagram といった SNS のアカウントをいくつかお持ちでしょうか。お持ちでしたら、アンケートへのご協力に対する御礼も含めて活用されたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>公式 SNS を持っていますので、そういった工夫もさせていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>市民アンケートの対象は18歳以上の2500人ということですが、小・中学生アンケートについては、公平性を保って各小・中学校に配布されるのでしょうか。その際は、第3次総合計画に関する説明について、学校に任せきりではなく、市から説明はされるのでしょうか。</p>

事務局	<p>小・中学生アンケートは、小学校5年生、中学校2年生の全員にお願いしたいと考えております。小学校5年生に関しては、「総合計画」ではなく、「まちづくり」という言葉に置き換えて、将来のまちのあり方を聞く形としています。中学校2年生に関しては、「総合計画」に関する説明を入れた上で、アンケートを実施したいと考えております。</p>
委員	<p>小学校5年生に関してもきちんと説明をすれば理解できる学年になっていると思いますので、愛西市の将来の道標である「第3次総合計画」を子どもたちに説明・周知することにも力を入れていただきたいと思います。今後、第3次、第4次と進んでいくため、裾野からの広報・周知も大切であると思います。ぜひよろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>アンケートの内容はすでに決定しているのでしょうか。</p>
会長	<p>最終決定ではないので、修正可能だと思います。</p>
委員	<p>市民アンケートの間9に「誇りや愛着」に関する設問がありますが、今後の計画の参考になるのは、間12の「市の主な施策に対する満足度・重要度」であると思います。間12の項目は具体的でよいと思った一方、間9は抽象的でどのように計画に活かすのでしょうか。</p>
会長	<p>この設問は、市の施策についてどの項目の満足度が高ければ結果的に市への愛着度が高まるのか、あるいは愛着度が低い方はどの項目に不満が大きいのかといった関係性を見るためにも重要です。つまり、愛着度だけで見るのではなく、愛着度を高める要因について他の項目との関係性から分析するために活用するものと考えます。</p>
事務局	<p>1つ1つの設問が何に活かされるのだろうかという疑問をみなさん持たれていると思いますが、実際には他の項目との関係性を考えてアンケートを設計しております。そのため、市としても先ほど会長がおっしゃった内容を狙いとしていることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、「シビックプライド」という言葉がありますが、自分たちの住んでいるまちに誇りが持てないということは人口流出につながるほか、市民の皆様の口コミなどで間接的に広がる際に良いイメージで届かない可能性があります。</p> <p>アンケート設問に関して、抽象的な聞き方と具体的な聞き方が出てきてしまう点をご理解いただきたいと思います。</p>
副会長	<p>愛着に関する設問と他の設問を掛け合わせる、クロスさせることで特徴が見えてくるので、こういった質問は意味があると思います。</p> <p>アンケートは、回答者にとって負担が大きく、回収率の低下につなが</p>

	<p>る場合があります。私が研究の中でアンケートを実施する場合は、いかに回答者の負担を減らすかを考えて調査を設計しています。前回の計画策定時と異なり、今回はウェブでも回答できるとのことで、多少なりとも若い世代の負担が軽減されると思いますので、回収率は前回と同程度、若しくは向上すると思います。</p>
委員	<p>市民アンケートの最後に「まちづくりワークショップ参加のお願い」がありますが、参加する方だけが住所や氏名等を記載する必要があると認識しております。一方で、しっかりと読み込まなければ、回答者全員が記載しなければならない印象を受けました。枠を大きくして住所氏名欄を囲うなど、少し工夫をした方がよいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりだと認識しましたので、工夫をさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>最近アンケートに合わせて、市の会議等への参加者を募る場合が多々あります。興味深い取組だと思しますので、期待しています。</p>
委員	<p>第2次愛西市総合計画にはアンケートの結果は相当反映されているのでしょうか。アンケートからからは導き出せない項目が多々あると思いました。例えば、「学校教育の推進」という項目に「開かれた学校づくりの推進」や「教職員の資質向上」といった内容がありますが、これらはアンケートの結果をから出た内容ではないと思います。</p>
事務局	<p>総合計画の策定にあたっては、市民の皆様の意見を十分反映するのはもちろんのこと、行政として取り組まなければならないことも施策として入れ込んでいるものがあるため、ご理解いただきたいと思います。</p>
会長	<p>総合計画は行政が行っている施策の全てを網羅する必要があります。必ずしも市民アンケートの結果だけで決まるものではなくて、行政としてやるべきことを施策として盛り込みます。</p>
委員	<p>アンケートの内容については、答えやすい内容だと思いました。 一方で、回答者に対してこれまでのアンケート結果がどう計画に反映されてきたかをわかりやすく提示できると、市民意見がどう変化してきたかが理解できて良いと思いました。</p>
会長	<p>先ほどのご意見同様、結果をどう反映するかが重要ですね。しっかりと受け止めて、庁内の議論等で参考にしてください。</p>
事務局	<p>今後取り組めることであると思いますので、行政として考えて進めた</p>

<p>会長</p>	<p>と思います。</p> <p>市民アンケートに満足度・重要度を問う設問がありますが、「とても重要だと思っているが、満足度が低い」項目について、今後特に力を入れていく必要があります。そのあたりを踏まえて、庁内でご議論されることを期待しています。</p> <p>アンケートの内容については本日のご意見で大きく修正するところはないかと思いますが、「まちづくりワークショップ参加のお願い」の表示について一部修正を行うこと及び回収率がより高まる工夫をした上で、アンケートを実施することになると思います。</p> <p>アンケートの配布から回収までのスケジュールを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日いただいたご意見をもとに修正した後、8月上旬の発送を目標として考えています。回収期限については、8月下旬若しくは9月上旬で考えています。小・中学生アンケートについては、夏休みに入る前に学校にお願いしたいと考えておりますので、早急に手続きを取りたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>9. その他</b></p> <p>次回の愛西市総合計画審議会は、現時点では12月頃を予定しております。その際に、市民アンケートや市民ワークショップ、庁内ワークショップなどにより得たデータからの分析、検証結果をご報告させていただき、ご意見等を頂戴したいと考えております。</p> <p>次の会議までの期間が空いてしまうため、委員の皆様にも市の動きや進捗などをご報告させていただきたい事項がありましたら、その都度郵送にてお知らせさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>また、現在、市民ワークショップに向けての準備を進めているところですが、より多くの方の意見を伺いたいと考えております。本日ご出席いただいた委員の皆様のお知り合い等でご興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けいただけますと幸いです。経営企画課までご連絡いただけましたら、ご対応させていただきます。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>市民ワークショップは委員の皆様も参加可能なのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>可能です。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様、お時間が許せば、ワークショップにご参加ください。</p> <p>次回が12月ということで、少し間が空いてしまいますが、ぜひとも皆様の周りの人にご意見等をお聞きいただければと思います。</p> <p>本日予定しておりました審議事項は全て終了しましたので、審議会はこれにて終わりたいと思います。どうもありがとうございました。</p>

	閉会
--	----